

CIVIL ENGINEERING
EXHIBITION

過去から未来。新しいT O K Y Oへ。

TOKYO DOBOKU
FROM — 1964 — TO

土木コレクション2019

DOBOKU COLLECTION 2019

2019.11.14 [木] — 17 [日] 8:00-21:00

14日(木) 13:00~21:00、17日(日) 8:00~17:00

新宿駅西口広場 イベントコーナー (JR新宿駅西口)



土木コレクション2019
特設WEBサイト



主催 / (公社)土木学会 共催 / 東京都建設局 協賛 / (一社)日本建設業連合会、(一社)建設コンサルタンツ協会、(一社)セメント協会、電気事業連合会、(一社)日本橋梁建設協会、(一社)日本鉄道施設協会、(一社)日本道路建設業協会、(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会、(一社)日本埋立浚渫協会、(公社)全国上下水道コンサルタント協会、(一社)関東地域づくり協会 後援 / 厚生労働省、国土交通省、総務省
問合せ / 公益社団法人 土木学会 土木広報センター TEL:03-3355-3448 (9:00-17:00)

「TOKYO」って、どんなイメージ?

安全で、便利で、快適。世界最先端の高い生活水準を誇る世界都市だと答える人は多いでしょう。でも昔からそうだったわけではありません。江戸城が明け渡された1868年の5年前、ロンドンでは地下鉄(The Tube)が開業していました。

明治の文明開化を経て近代国家への仲間入りを目指してから150年。我が国は地震や戦争、災害など、幾度となく迫る苦難に直面してきました。しかし、そのたびに乗り越えてTOKYOは進化してきたのです。街を便利に楽しめる地下鉄、火災の延焼を防ぐ幅の広い道路、台風から身を守る安全な川や、日本の経済を動かす高速道路や新幹線——。先人たちの努力の結晶が、今も残っています。

そんなTOKYOで、1964年以来2度目となるオリンピックが来年2020年に開催されます。オリンピックの本番前にぜひ皆さんに知ってほしいのが、開催を裏で支えるそんな「インフラ」の存在です。

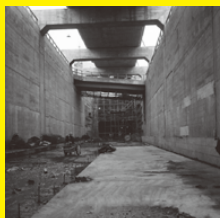
「インフラ」は皆さんの生活を24時間365日支え続けています。存在が当たり前すぎて、普段は意識することもほとんどないのではないのでしょうか?しかし、異なる時代に造られたインフラが、実は綿密な計画の下でそれぞれが折り重なってTOKYOを機能させています。

土木コレクションでは、土木界が保有する、普段目にする事ができない貴重な映像や写真、図面、歴史資料の数々を毎年、展示・公開しています。今年の開催では2つのオリンピックを軸に、「イントロ/軌跡」「戦前～戦後/世界都市東京の夜明け」「1964/東京オリンピック前夜」「その後/TOKYO2020に向け」という4つのゾーンに分けて、社会背景とともにインフラの魅力をお伝えしたいと思います。

過去から未来へと脈々と受け継がれてきた土木の蓄積とともに、変貌を遂げてきたTOKYOをぜひ実感してもらえれば幸いです。

ZONE 1 イントロ/軌跡

TOKYOは一日にして成らず——。1923年の関東大震災や1945年の東京大空襲を経て、現代に至るまで首都のインフラはどのような変遷をたどってきたのか。代表的なインフラ整備100年の歴史を社会背景とともに振り返ります。また、1960年代と2010年代のTOKYOを約4m四方に広げた空中写真を見ながら、土木の息吹を感じ取ってください。



ZONE 2 戦前～戦後/世界都市東京の夜明け

近代国家にふさわしいインフラの基礎が出来上がる黎明(れいめい)期です。上下水道の整備や地下鉄・都電の開業、治水の推進など、TOKYOにおける本格的なインフラの整備が開始されました。幻に終わった1940年東京オリンピックの図録・ポスターも必見です。



ZONE 3 東京オリンピック前夜

一大イベントである「1964年」を前に、急ピッチでインフラ整備が進む時代です。首都高速道路や東海道新幹線、東京モノレール、羽田空港、地下鉄など、TOKYOを今も支える交通の屋台骨の多くは、この時代に完成しました。今も使われ続けるインフラが多く、「2020年」のオリンピックは、この時のインフラが土台となっています。



ZONE 4 その後/TOKYO2020に向け

1964年のオリンピックの成功や高度経済成長期を経て、TOKYOがさらなる発展を遂げる時期です。平行して爆発的に増えたのがインフラ整備でした。首都高速道路は網の目状に整備され、3環状の道路も着々とつながっていきます。そして2020年のオリンピックや次世代に向けて、高齢化する既存のインフラの改良・更新や、皆さんの都市生活をより便利にする改造を行っています。



[EVENT] どぼくカフェ



どぼくカフェと土木コレクションのコラボ企画。専門家を招き会場内で、どぼくカフェ(一般向け講演会)を開催します。

11月14日(木)

18:00~19:00	東京オリンピック・パラリンピックと交通、そして私たちの役割	家田 仁(政策研究大学院大学教授) 赤羽 弘和(千葉工業大学教授)
-------------	-------------------------------	--------------------------------------

11月15日(金)

18:00~19:00	建築に見る五輪都市トーキョー	磯 達雄(建築ジャーナリスト) 宮沢 洋(日経アーキテクチャ編集長)
-------------	----------------	---------------------------------------

11月16日(土)

13:00~14:00	首都トウキョウを支えてきた鉄道構造物	小野田 滋 (鉄道総合技術研究所 情報管理部 担当部長)
14:00~15:00	首都高速道路はなぜ日本橋の上空に架橋されたか!!	土屋 信行(リバーフロント研究所 技術参与)
15:00~16:00	東京の都市インフラとしてのランドスケープ	片桐 由希子(首都大学東京 助教)

11月17日(日)

13:00~14:00	東京の橋	紅林 章央(東京都建設局 橋梁構造専門課長) 八馬 智(千葉工業大学教授)
14:00~15:00	東京の都市計画道路 —1964年と2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都高速道路と街路—	古川 公毅
15:00~16:00	祝祭・災害が形づくるドボク	大山 顕(フォトグラファー/ライター) 高橋 良和(京都大学教授)



土木コレクション2019

2019.11.14 [木] — 17 [日] 8:00-21:00

14日(木) 13:00-21:00、17日(日) 8:00-17:00

新宿駅西口広場イベントコーナー (JR新宿駅西口)

